

<p>科目名：テーマ研究</p>		<p>選択</p>	<p>2単位(90時間)</p>	
<p>(Special Research Topics)</p>				
<p>履修年次/時期：3年次 後期</p>		<p>授業形態：講義,演習</p>		
<p>主担当教員：角田 晃</p>				
<p>主担当教員詳細：</p>				
<p>担当教員名：阿部 智子, 伊ヶ崎 理佳, 片岡 あい子, 金子 和美, 小堀 陽子, 関端 麻美, 戸田 真司, 長谷 徹, 山本 裕子, 劉 彦君</p>				
<p>学修目的</p>	<p>指導教員のもと、医療に関する各自のテーマごとに情報収集・研究プロセス・論文の書き方・研究成果発表を学び、3年間の歯科衛生に関する知識・臨床のまとめおよび歯科衛生研究について学ぶ。</p>			
	<p>関連するCP：CP3,CP4</p>	<p>科目No. S3D14S12</p>		
<p>この科目が目的としているDP</p>	<p>1. 医療専門職としての倫理観を有する。</p>	<p>(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。</p>	-	
		<p>(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。</p>	-	
	<p>2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。</p>	<p>(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。</p>	◎	
		<p>(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。</p>	○	
		<p>(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。</p>	○	
	<p>3. 口腔の健康支援を通し全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。</p>	<p>(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。</p>	-	
		<p>(2)優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。</p>	-	
		<p>(3)歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。</p>	-	
	<p>◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP</p>			
	<p>到達目標</p>	<p>歯科衛生研究の考え方・研究のプロセス・研究成果の発表を修得し、論文のまとめ方を学ぶ。</p>		
<p>授業概要</p>	<p>指導教員のもとで医療に関する各自のテーマごとに情報収集・研究プロセス・論文の書き方・研究発表成果発表を理解する。また、3年間の歯科衛生に関する知識・臨床のまとめおよび歯科衛生研究について学修する。 この授業を選択した学生は、以下のテーマの中から自分が行うテーマを選び、担当教員の指示に従って、15回の授業の中で、研究を進め、論文としてまとめる。 指導教員のもとで医療に関係したテーマを選び、問題の抽出方法、問題解決の方法、文献の選び方、レポートの書き方などを学ぶ。たとえしばらく経たないテーマであっても多くの文献を通して広い知識が必要とされることが理解できると思う。 二年半の間に学んできた基礎的な知識がいかに役立っているかを、身をもって感じられるはずである。また、まとめるにあたっては科学的な文章の作成のしかたも同時に学ぶことになる。 テーマ1「各ライフステージの検診受診率について」(阿部) テーマ2「唾液分泌量と味覚機能との相関関係」(伊ヶ崎) テーマ3「世界のう蝕予防事情」(片岡) テーマ4「審美歯科における各種セルフケアの応用と検討」(金子) テーマ5「口腔機能管理シミュレーターの活用法について」(小堀) テーマ6「各種口腔清掃用品とその清掃効果の検討」(関端) テーマ7「スポーツ歯科と歯科衛生士」(角田) テーマ8「歯科保健に関する行政の取組みについて」(戸田) テーマ9「糖尿病と歯周病の関係について」(長谷) テーマ10「唾液に含まれる抗菌物質に関する検討」(山本) テーマ11「未就学児における早期小児う蝕(ECC)と精神運動発達について」(劉) 講義：各担当教員から研究テーマにおける現状について説明・情報提供を受けて知識と理解を深めるとともに、その分野において興味を持った点や疑問点を抽出する。 演習：学術論文や図書などを活用したうえで、講義で理解した内容と融合させて問題解決を図り、担当教員の指導のもと、まとめレポートを作成して学科内において発表する。</p>			
<p>評価方法</p>	<p>テーマの取り組み方、レポートの内容などを総合評価。 レポートに対するフィードバックは、発表後の教員からの質疑応答をもって、それに充当する。</p>			
<p>予習・復習時間</p>	<p>【予習】2.0時間 【復習】2.0時間</p>			
<p>教科書</p>	<p>教員がそのつど指示。</p>			

参考書	教員がそのつど指示。
オフィスアワー 連絡先	担当教員が指示。

実施回	第1回	実施日		時限		班	
授業計画	各テーマ担当者より、別途指示。	予習	各教員の指導のもとに行う。				
		復習					
		キーワード					
授業形態	講義	担当	学科教員				

実施回	第2回	実施日		時限		班	
授業計画	各テーマ担当者より、別途指示。	予習	各教員の指導のもとに行う。				
		復習					
		キーワード					
授業形態	講義,演習	担当	学科教員				

実施回	第3回	実施日		時限		班	
授業計画	各テーマ担当者より、別途指示。	予習	各教員の指導のもとに行う。				
		復習					
		キーワード					
授業形態	講義,演習	担当	学科教員				

実施回	第4回	実施日		時限		班	
授業計画	各テーマ担当者より、別途指示。	予習	各教員の指導のもとに行う。				
		復習					
		キーワード					
授業形態	講義,演習	担当	学科教員				

実施回	第5回	実施日		時限		班	
授業計画	各テーマ担当者より、別途指示。	予習	各教員の指導のもとに行う。				
		復習					
		キーワード					
授業形態	講義,演習	担当	学科教員				

実施回	第6回	実施日		時限		班	
授業計画	各テーマ担当者より、別途指示。	予習	各教員の指導のもとに行う。				
		復習					
		キーワード					
授業形態	講義,演習	担当	学科教員				

実施回	第7回	実施日		時限		班	
授業計画	各テーマ担当者より、別途指示。	予習	各教員の指導のもとに行う。				
		復習					

		キーワード	
授業形態	講義,演習	担当	学科教員

実施回	第8回	実施日		時限		班	
授業計画	各テーマ担当者より、別途指示。	予習	各教員の指導のもとに行う。				
		復習					
		キーワード					
授業形態	講義,演習	担当	学科教員				

実施回	第9回	実施日		時限		班	
授業計画	各テーマ担当者より、別途指示。	予習	各教員の指導のもとに行う。				
		復習					
		キーワード					
授業形態	講義,演習	担当	学科教員				

実施回	第10回	実施日		時限		班	
授業計画	各テーマ担当者より、別途指示。	予習	各教員の指導のもとに行う。				
		復習					
		キーワード					
授業形態	講義,演習	担当	学科教員				

実施回	第11回	実施日		時限		班	
授業計画	各テーマ担当者より、別途指示。	予習	各教員の指導のもとに行う。				
		復習					
		キーワード					
授業形態	講義,演習	担当	学科教員				

実施回	第12回	実施日		時限		班	
授業計画	各テーマ担当者より、別途指示。	予習	各教員の指導のもとに行う。				
		復習					
		キーワード					
授業形態	講義,演習	担当	学科教員				

実施回	第13回	実施日		時限		班	
授業計画	各テーマ担当者より、別途指示。	予習	各教員の指導のもとに行う。				
		復習					
		キーワード					
授業形態	講義,演習	担当	学科教員				

実施回	第14回	実施日		時限		班	
-----	------	-----	--	----	--	---	--

授業計画	レポート発表・質疑応答	予習	
		復習	
		キーワード	
授業形態	演習	担当	学科教員

実施回	第15回	実施日		時限		班	
授業計画	レポート発表・質疑応答、全体のまとめ	予習					
		復習					
		キーワード					
授業形態	演習	担当	学科教員				